

令和元年 12月18日
<木曽川水系イタセンパラ保護協議会>
環境省中部地方環境事務所
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

お知らせ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」

1. 概要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。

木曽川水系イタセンパラ保護協議会設立10周年を迎え、10年間でのイタセンパラの木曽川での生息改善事業や水族館施設等での増殖、地元での保全活動への取組みや木曽川でのイタセンパラやその他のタナゴ類の生態、今後のイタセンパラ保全の展望について学び、これからのイタセンパラの保全について考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 <参加費無料>

2. 開催日時・場所・内容等

令和2年1月25日(土) 12:30~16:00

「尾西生涯学習センター墨会館」集会室

一宮市小信中島字南九反11-1

内容、参加申込の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシをご参照下さい。

参加者募集チラシ・申込書は、中部地方整備局HP 記者発表資料(令和元年12月発表分)(<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/2019/12.htm>)及び、中部環境事務所のHP TOPICS (<http://chubu.env.go.jp/>)からもご覧いただけます。

3. 添付資料

- ・概要書:「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第10回記念大会 イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・当日の取材、撮影は可能ですが、講義中の撮影はご遠慮願います。
- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、原則非公開とさせていただきます。

6. 問い合わせ先

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課	企画官	進藤	博文	
	課長補佐	小田嶋	仁	tel:052-955-2139
国土交通省 中部地方整備局 河川環境課	課長	武田	真吾	
	補佐	川村	昭彦	tel:052-953-8151

概要書

「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は国の天然記念物で、絶滅の恐れのあるコイ科の淡水魚です。

日本では現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域にしか生息しておらず、個体数が減少傾向にあるなか、密漁などの人為的な圧力等もあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などにご理解いただき、連携した取り組みを進めていくことを目的として、毎年、「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第10回となる今年の勉強会では、環境省と木曽川水系イタセンパラ保護協議会長である岐阜協立大学の森誠一教授からイタセンパラ保護協議会でのこれまでの取組の話題や国土交通省から木曽川におけるイタセンパラの生息環境改善の話題についてお話しします。また、木曽川でイタセンパラの調査を行っている三重県総合博物館の北村淳一学芸員によるイタセンパラのお話や、イタセンパラの保護増殖に取り組んでいる世界淡水魚園水族館の池谷幸樹館長、岐阜大学の永山滋也研究員による新技術による今後のイタセンパラ保全、地元での取組みによる地域への浸透、今後の展開についてお話する予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」を間近に見学し、勉強できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申し込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、応募してください。

＜ 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H30.3.5 改正）の概要 ＞

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者及び関係機関、地域住民が協働して密漁対策、希少種に関する啓発活動、希少種に関する環境教育、各主体による取り組みに係る意見交換などを進めることを目的に、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

有識者：伊藤 健吾（岐阜大学）、池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 禎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也（岐阜大学 流域圏科学研究センター）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化庁記念物課、愛知県（自然環境課、生涯学習課）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所

国内希少
野生動植物種
(種の保存法)

天然記念物
(文化財保護法)

絶滅危惧IA類
(環境省レッドリスト)

参加者募集
ぜひお申込みください



第10回記念大会

イタセンパラの勉強会

～木曽川水系イタセンパラ保全の10年の歩み～

開催日: 令和2年 **1月25日(土)** 12:30～16:00
(受付12:00～)

会場: **尾西生涯学習センター墨会館 (集会室)**

内 容: ①イタセンパラセミナー「木曽川水系イタセンパラ保全の10年の歩み」

- ・「木曽川水系イタセンパラ保護協議会の10年の活動について」 環境省、岐阜協立大学 森 誠一 氏
- ・「イタセンパラについて分かってきたこと」 三重県総合博物館 北村 淳一 氏
- ・「木曽川で生息場(ワンド)を守る、つくる<10年の成果>」
国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 河川環境課
- ・「イタセンパラを育てる、増やす」 世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ 池谷 幸樹 氏
- ・「新技術による今後のイタセンパラ保全の展望」 岐阜大学 永山 滋也 氏
- ・「10年の活動における地域への浸透・展開」

②現地見学会—木曽川における保全対策施工箇所の見学
(セミナー会場からはバスでの移動となります。)

定 員: 100名(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます)

参加費: 無料

対 象: 小学生高学年以上(小学生は保護者同伴でお願いいたします。)

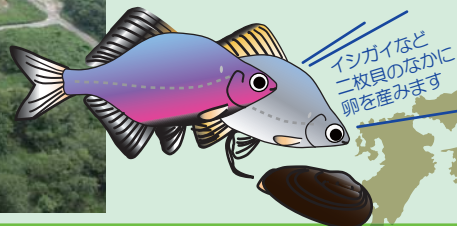
木曽川にすむ希少魚「イタセンパラ」ってどんな魚?



木曽川中流部のワンド群

イタセンパラ(コイ科タナゴ亜科)は、二枚貝に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物に指定されています。

かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曽川中流部のごく一部のワンドに限定されています。



富山平野
濃尾平野
大阪平野

生息地は
世界で
3か所だけ

※参加申込方法については、裏面をご覧ください。

主催: 木曽川水系イタセンパラ保護協議会

【お問い合わせ先】

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課 (tel:052-955-2139)

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課 (tel:052-953-8151)

FAX 送付先 052-218-0667

■ 申込方法及び申込先

- ①メールの場合は、
申込内容を記載し、件名を『イタセンパラの勉強会参加申込』として、
itasenpara@kensetsukankyo.co.jp まで送信してください。
- ②FAX の場合は、
この申込書に記入して、052-218-0667 まで FAX してください。
- ③はがきの場合は、返信用の宛先を記載した往復はがきに申込内容を記載し、
下記まで郵送してください。

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-20-27

御幸ビル 5F (株)建設環境研究所
第 10 回イタセンパラの勉強会事務局 宛 **※切 1月21日(火)必着**

※会場や応募に関するお問い合わせ先：
(株)建設環境研究所 TEL052-218-0666 担当：阿部、加藤
または上記①のメールアドレスまで

■ 参加申込内容

連絡先（代表者）
① 氏名
② 住所 : 〒
③ 電話番号 :
④ FAX 番号 :
⑤ Email アドレス :
⑥ 参加人数 : 大人 名、小人（中学生以下） 名
⑦ 会場までのバス送迎希望の有無 : 有 無 (どちらかに○をつけてください) セミナー会場（墨会館）周辺は駐車場が少ないため、自家用車でのご来場はご遠慮ください。 お車でご来場される方は、一宮市尾西庁舎（一宮市東五城字備前 12）の東側駐車場へお停めください。駐車場からバスで送迎いたします。
⑧ イタセンパラ保護に関する取組みへのご意見 :

※参加申込に関わる個人情報、勉強会以外には使用いたしません。

■ 定 員：100 名（申込み多数の場合は抽選とさせていただきます）